

令和2年度実施の自己評価に対する学校関係者委員の意見とその対応方針

評価区分	評価項目	自己評価	委員の意見	対応方針
1 ・ 教育 理念 ・ 目標	(1) 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念や目標は明確に定められており、その実現に向けて努力のがなされているが、開校して間もないこともあり周囲に十分に認識されているとは言い難い。今後、卒業生が増加することにより、現場での評価が高まるものと期待する。 ・一方、社会情勢の変化が大きい時代でもあり、社会のニーズに応えるべく、人材養成に努力されることを望みたい。 ・救急救命、理学療法の専門技術、社会人基礎力に焦点を当てた明確な目標が定められ、専門職のニーズに合わせ教育内容の見直し、地域住民への情報発信等、明確な将来構想が定められ取り組まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念や目標は不変ですが、社会情勢の変化に対応し、ニーズに応えられるよう教育内容を検討いたします。 ・開校して10年、歴史も浅いですが、社会で活躍する卒業生も増えてきているので、引き続き広く学校をPRしてまいります。
	(2) 学校における職業教育の特色は何か	B		
	(3) 社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	B		
2 ・ 学校 運営	(4) 目的等に沿った運営方針が策定されているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営に当たっては地域の実情に応えるべく方針の明確化に努力がなされており、進捗状況等も常に確認をしながら進めている。 ・校舎が分かれていることもあり、一体的な運営体制が難しい面がある。また学園本部との距離もあり意思決定のスピードの向上を図る必要があると考えられる。 ・情報の共有化を図るとともに、その管理についても確認の必要があると考えられる。 ・情報公開の一つであるHPであるが、「卒業生の方」と「保護者の方」のページが準備中であること、公式ブログの「救命日記」の更新が少ないのが残念ある。 ・意思決定システムは組織運営上特に重要である。早急に整備すべきと思う。 ・新型コロナ対策として、また卒業生のスクーリングとして、リモート授業の環境整備が必要ではないか。 ・ネットワークの問題を含め、救命救急科と理学療法科を同一校舎にできない問題の調整は難しいが、学校法人としての運営方針が明確化されていて、事業計画の見直しがされている点が良い。 ・学生向けのカリキュラムの他、法人の経営内容を含む情報公開がホームページで行われていてとてもわかりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・両学科及び本部が離れていることにより支障が出ないよう、情報ネットワークの構築や情報の共有化に向けて取り組んでいきます。 ・ホームページについては、適宜適期の情報提供に努めていくとともに、見てもらえるホームページの作成に務めます。
	(5) 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	B		
	(6) 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確にされているか、有効に機能しているか	B		
	(7) 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	A		
	(8) 意思決定システムは確立されているか	B		
	(9) 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	C		
3 ・ 教育 活動	(10) 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムは体系的に編成されており、それに応じた授業が実施されている。 ・個人の能力に応じた指導の在り方について研究する必要があると感じられる。 ・国家試験の対策や卒業後の実践力を高める指導面でもきめ細やかに指導されており、今後に期待したい。 ・卒業に向けたディプロマ・ポリシーに基づく教育課程が編成されていて、学年ごと達成度の明確化について改善に取り組まれている。 ・科目により、医療施設の非常勤講師の授業が提供され、実践的な現場体験や職業教育の機会が得られていて良い。 ・専任教員養成講習会の受講に積極的に取り組まれている他、教員の資質向上を目的とした授業評価が実施されている点が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団指導とともに個々人の能力に応じた指導の在り方についての指導も必要なのですが、少ない教員体制の中で実現できていませんので、可能な限り個々人の能力に応じた指導方法について検討いたします。 ・教員の研修受講は、資質向上のために必要不可欠であり、引き続き研修受講を推進いたします。
	(11) 修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	B		
	(12) 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A		
	(13) キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	B		
	(14) 授業評価の実施・評価体制はあるか	B		
	(15) 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	B		
	(16) 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A		
	(17) 資格取得に対する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	B		
	(18) 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	B		
(19) 職員の能力開発のための研修等が行われているか	B			

評価区分	評価項目	自己評価	委員の意見	対応方針
4・ 教育 成果	(20) 就職率の向上が図られているか	B	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得率の向上や就職率の向上等、きめ細やかに配慮されているが、なお一層の努力が望まれる。特に個別の指導等を工夫して退学者を減らす努力を望みたい。 就職率の現状の数値が示されていないので評価ができない。 卒業生・在校生の活躍及び評価を把握できていないのであれば、評価はBではなくCあるいはDになるのではないかと。 成績不振者や国家試験、公務員試験等への個別的対策が提供されている点が良い。 卒業生の就職先の実績作りを継続しながら、学生の実習先として、卒業生の業務する施設で実習を行えるような施設との関わりを構築できることが今後望まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 国家試験の合格率(資格取得率)は、全国平均と比較すると低くなっており、このことが就職率にも影響してくるので補講や個人指導の実施を検討し、合格率を高める努力をします。 不合格者に対しては、希望者の翌年の再チャレンジに向けてスクーリングの実施や模擬試験に参加するなど、積極的に関与します。 卒業生の就職先は大きな実習先候補地となることから、これまで以上の卒業生のフォローアップも行います。
	(21) 資格取得率の向上が図られているか	B		
	(22) 退学率の低減が図られているか	B		
	(23) 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	B		
5・ 学生 支援	(24) 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	A	<ul style="list-style-type: none"> 学生への支援体制は概ね整備されているようであるが、精神面での相談や健康管理、課外活動への支援体制にさらに工夫されたい。 経済的な支援体制などの情報については、様々な場面での発信を望みたい。 コロナ禍の最中であり、医療従事者の教育施設として新型コロナウイルス感染防止対策についても、現状・課題の文章の中で触れておくべきではないかと。 無料送迎バスや、安価な学生寮等、学生への経済的負担軽減に取り組まれている。また、各種奨学金制度の紹介や制度の内容理解に取り組まれている点も良い。 コロナ禍の問題はあるが、引き続き学生の参加できるボランティア活動を通じた地域住民との交流や、同窓会の発足等、卒業生とのつながりが持てる環境調整に努めていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学生が充実した学校生活を送られるよう、学生との体を通して健康面でのサポートを行います。 経済的な支援体制については、本校独自の支援体制はありませんが、国の新たな修学支援制度など学生にとって大変優遇となる制度がありますので、その周知方法について検討します。 コロナ禍における教育については、医療人として学生自身も身に付けておく必要があるため、他の感染症対策も含めて教育内容を検討します。 無料送迎バスの運行や学生寮の整備は、学生が勉学に専念できるための方策でもあり、引き続き充実するよう努力します。
	(25) 学生相談に関する体制は整備されているか	A		
	(26) 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	B		
	(27) 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	B		
	(28) 課外活動に対する支援体制は整備されているか	B		
	(29) 学生の生活環境への支援は行われているか	B		
	(30) 保護者と適切に連携しているか	B		
(31) 卒業生への支援体制はあるか	C			
6・ 教育 環境	(32) 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	B	<ul style="list-style-type: none"> 概ね良好であるが、改修が必要な施設設備もあり、計画的に改修にあたられたい。 防災に対する体制整備の評価は十分実施されていることから、BではなくAとしていいのではないかと。 ハード面の整備等、引き続き計画的な調整が行われることが望まれる。 校外実習について、コロナ禍の問題はあるが、学生のため引き続きの実習地確保に努めていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 校舎については建築年から相当年数が経過しており、修繕箇所も年々増えてきています。しかし、財源的な問題もあることから、優先順位を考慮しながら改修に努めます。 本年度の臨床実習については、コロナ禍において実習施設の確保が困難ではありましたが、新たな実習先を確保するなどした結果、すべて学外実習として行いました。引き続き、実習施設の確保に努めます。
	(33) 学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	B		
	(34) 防災に対する体制は整備されているか	B		
7・ 学生 募集 活動	(35) 学生募集活動は、適正に行われているか	B	<ul style="list-style-type: none"> 入学者の確保に尽力されているが、なかなか成果が上がっていない。コロナ等の影響で学校訪問等も限られたと考えられるが、近隣の高校等への働きかけが望まれる。 学生募集の対応として、ホームページの充実や、学校説明会、オープンキャンパス等のイベント調整を継続していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学生募集については、学校訪問、学校説明会、オープンキャンパス、教育情報誌。ホームページなどによって実施しています。本年度はコロナ禍の状況にあつて、学校訪問がほとんどできなかったことから、高校への働きかけが薄れたことは紛れもない事実です。 次年度も同様な事態が想定されることから、PR方法、募集の仕方について検討をします。
	(36) 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	A		
	(37) 学納金は妥当なものとなっているか	A		
8・ 財 務	(38) 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	B	<ul style="list-style-type: none"> 入学者の確保に尽力されているが、なかなか成果が上がっていない。コロナ等の影響で学校訪問等も限られたと考えられるが、近隣の高校等への働きかけが望まれる。 学生数の増加、充足を含め、現状の対応を継続していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 定員の充足は学校経営に大きな影響があるので、引き続き充足率の向上に努めます。
	(39) 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	B		
	(40) 財務について会計監査が適正に行われているか	A		
	(41) 財務情報公開の体制整備はできているか	A		

評価区分	評価項目	自己評価	委員の意見	対応方針
9 ・ 法令等 の 遵守	(42) 法令、専修学校の設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	B	<ul style="list-style-type: none"> • 単位数の確保や、実習時数の確保等の基本となるべき教職員定数の確保に努めていただきたい。備品等についても法令により備えるべき備品の整備に努められたい。 • 個人情報保護に関する規定が整備されていないことから、評価はBではなくDになると思います。 • 施設設備を含め、学生の新たなカリキュラムに対応する調整が行われている。 • 専任教員の不足に対し明確な計画が立てられ調整されており、実現に向け継続的に取り組んでいただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 学校運営の基本は、私立学校法等の法律に基づくものです。 • 個人情報保護については、個人情報保護方針(プライバシーポリシー)を策定しています。 • 専任教員の充足は、当然の義務であり、充足できるよう努めます。
	(43) 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	B		
	(44) 自己点検評価の実施と問題点の改善を行っているか	B		
	(45) 自己点検評価の結果を公開しているか	A		
10 ・ 社会 貢献 ・ 地域 貢献	(46) 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	B	<ul style="list-style-type: none"> • 地域社会の講座等への講師派遣は積極的に対応頂いていることを感謝したい。今後も地域からの要望に積極的な対応をお願いしたい。 • コロナ禍の問題はあるが、地域貢献として救急救命科、理学療法科とも、地域住民との関わりが持てるボランティアの活動参加を検討して継続していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域に根差した学校を目指しているため、今後も地域の要望に応えられるようにします。 • 学生に対しては、なるべく地域業行事に参加できるように話していますが、行事の時期によっては実習期間と重なることにより参加できない場合もありますことをご理解願います。
	(47) 学生のボランティア活動の奨励、支援をしているか	B		
	(48) 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練を含む)の受託等を積極的に実施しているか	B		